



立校会 高等学 津高 岐中 同

特別号

みんなで成功させよう 創立90周年記念事業

記念事業細目決定

九十周年行事は、平成七年十月二十一日(土)と二十二日(日)の両日に行われる。中でも卒業生による公開講座が画期的な事業として行われ、創立当時の女学生の姿を再現するミニチュメントが建設される。

90周年記念式典

記念式典は、二十二日「女学生像」の除幕式後、午前九時五十分より中津高校第一体育館で、多数の来賓や同窓生を招いて行われる。そこでは、永年にわたって同窓会に貢献された伊藤成章前会長、市岡福子元副会長、吉村公子前副会長に感謝状が伝達されること

通常総会ひらかれる

爽やかに澄みわたる五月が、今年には年初来の異常事の出来にみまわれてか、五月に入っても連日雨模様となっていた。ところが、中津高校同窓会が開かれた五月十三日に限っては五月晴れとなった。例年五月第二土曜日に開催される中津高校同窓会総会は、今年十月に予定されている「創立九十周年記念事業」の承認を主議題として、開催のみにあらずに緊張感の溢れるなかに開催さ



中津高等学校 同窓会総会

聴講歓迎

一般市民のなかには、まともな星のごとき講師陣の顔ぶれから、今から楽しみにしている人達も多いとの反響が寄せられている。当日は、全日制と定時制の生徒を主たる対象とした授業となる。学界での最先端の講義が聴けるとあって、生徒達ほどの講義を聴こうかと迷いに迷っている卒業生のなかにも期待が高まっており、同窓会を開いて歓迎しようという手かずねをひいている。

卒業生の公開講座

中津高校はこれまで学界、経済界、出版界などに幾多の人材を輩出してきている。こうした方々を招いて、十月二十一日(土)午前十時三十分から一斉に授業を行うこととした。中津川市教育委員会の後援をうけて、一般市民にも開放している。

会長、募金達成を訴える

郷原幸夫会長(四回生)は冒頭の挨拶で「本年は、創立九十周年の年に当たっており、昨年未総額二千四万の記念事業資金の募金の趣意書を発送しました。ところが、今年一月の阪神南部大震災もあって現在

講義の講義録は冊子にまとめられ、希望者へは実費で頒布されることとなっている。事務局長で申し込んで欲しいという。中津高校事務局 FAX 〇五七三 六六一一三六二

女学生像ミニチュメント

中津女学校の創立以来、九十周年を経過した現在、年々「女学校時代」が薄れてきていることは否めない。郷原同窓会長は「こうした流れから、中津高女への愛着や思い入れが薄ら



役員は留任

平成六年度の事業報告や会計報告が承認されたのち、役員改選が審議された。郷原会長より「本年は創立九十周年記念事業があり、責任上この全が責務であると考えており、

募金集めは苦戦 再度のお願い

九十周年記念事業での募金集めが苦戦している。六月半ばで約五割弱となっている。是非でも目標額を達成しなければならぬと、同窓生の方々の再度のお願いとなった。すでに募金を寄せられた方で再度振替用紙が届く場合は失礼を申し上げますが、事情を理解して頂くとともにお呼び申し上げます。

実行委員長の悲痛なお願い

五月十三日に開催された中津高校同窓会総会で、丹羽宏造実行委員長は募金の集まり状況を説明のなかで、「現在の募金は八百四十九万円となっている。式典まで残された日数は僅かとなり、大変厳しい状況にあります。



目標の満額達成を

郷原幸夫同窓会長は、会長挨拶で「九十周年事業は、最終的な詰めのところまで来ています。事業成功の裏づけは募金の満額達成にあります。阪神大震災に見舞われ、水を掛けられたという側面もありましたが、母校を思う心から一人でも多くの方から広く薄く募金を願いたいという気持ちです。本部役員、学年委員、クラス役員が一九となつて、目標額の満額達成をお願いします。」と会長の心情を語った。



五割弱の集まり状況

同窓会総会から一ヶ月を経過した六月十日現在で、募金総額は九百八十九万円となっている。目標額の四十九%の達成率である。九十周年実行委員会では平成六年十二月にすべての同窓会員に趣意書を送付し、募金を呼びかけた。今回の事業予算は二千六百万円で、このうち二千万円を同窓生による募金によって賄おうとする計画である。しかし、六月現在で約五割弱の募金状況から、実行委員長の悲痛なお願いとなっているのである。

再度のお願い!

すでに募金をして頂いた同窓生は千二百名を越えている。しかし、これも同窓生全体の六%にすぎないのが現状となっている。こうしたことから、募金担当の柳沢敏夫財政委員長(三回生)は、「中津高校の同窓生なら、必ず募金をして頂けるものと信じています。一人一人の積み上げが九十周年を成功させる。中津高校の飛躍につながるものをお願ひします。」と語っている。まだ、募金をされていない同窓生は、この旭陵会だより号外に同封されている振替用紙によって募金をお願いします。また、知り合いの方に声をかけて頂いて、一人でも多くの方々に募金が寄せられるようはたらきかけて頂きますようお願いいたします。

寄付金控除 期間の延長

昨年の十二月に送付した趣意書のなかで、寄付金の免税措置となる寄付金控除の期間が平成七年八月三十一日までと通知されていましたが、この期間を本年十一月三十日までとする手続きを申請中です。これから出される募金についても免税措置が適用されますので、ご承知のうえ有効に活用していただきたいと思います。

記念誌の発行見送る

前回送付した趣意書にある記念事業の一環としての「記念誌」の刊行は、見送ることになった。この事情について、仁科吉介記念誌委員長(十五回生)は、「記念誌の見送りはまことに残念に思う。ただ、現在の財政見通しのなかでは困難なことも分る。」と語っている。記念誌に集録する予定であった卒業生による公開講座の講義録は、小冊子により別途発刊されることになった。講義録の発行は平成八年三月の予定である。

最先端で活躍する卒業生が 一斉に公開講義

創立九十周年記念事業のなかでも、市民からも熱い眼差しで見られて公開講義が、卒業生による公開講座である。

十月二十一日(土)午後十時三十分から十二時までの九十分間の授業を行うものである。

会場は中津高校の二十五教室を使って行われる。また、定時制生徒のため、一講座が設けられ、全部で二十六講座となる。

聴講は自由

中津川市教育委員会はこの公開講座に後援をしており、一般市民の聴講を呼びかけている。聴講を希望される方は、あらかじめ葉書か

卒業生の作品が一同に 記念芸術展の開催

中津高校では、これまで数多くの美術家を輩出してきています。この方々の作品を集めて、創立九十周年の記念事業の一環として芸術展を開催することが決まりました。

手弁当で講義

今回、講義をお願いした卒業生には、すべてボランティアとして参加を要請した。したがって、各講師はすべて手弁当で講義を行うこととなった。本来であれば、これだけの講師を集めての講義、講演となれば莫大な費用がかかることとなるが、各講師の母校への思いが、このような画期的な事業を生むこととなり、実行委員長をはじめとする関係者は「本当にありがたいことだ。これも中津高校の良さ、伝統があつて、はじめてできたことだ」と話している。

講義録を発刊

二十五の公開講座による講義内容は、記念誌委員会の手によって、一冊にまとめられ、費用もすべて頒布されることとなっている。頒布希望の方は、ハガキかFAXで頒布希望と希望部数を記入して申し込んでいただきたい。

- 〇卒業生
柳瀬道音(十七)、鈴木道郎(二五)、平野和雄(二六)、笠木茂(二七)、交代東平(二七)
- 〇旧・現職員
松原鉄之、長谷川忠広、大脇義文、桂川良三(四二)、西尾克美、渡辺勝彦、洞田和美、花田勝太郎(三七)
- 〇卒業生
柳瀬道音(十七)、鈴木道郎(二五)、平野和雄(二六)、笠木茂(二七)、交代東平(二七)

講義録を発刊

二十五の公開講座による講義内容は、記念誌委員会の手によって、一冊にまとめられ、費用もすべて頒布されることとなっている。頒布希望の方は、ハガキかFAXで頒布希望と希望部数を記入して申し込んでいただきたい。

卒業生とN響楽団員による 華麗な音楽会を開催

創立九十周年記念事業の一環として、演奏会が開催される。十月二十二日の記念式典に引き続き、午前十一時二十分より一時間、間にわたって行われる予定である。

同窓生三氏が各賞を受賞

中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。

国公立大・私立大ともに大躍進

平成六年度の中津高校の大学進学状況は、例年にも増して好成績であった。国公立大学、私立大学ともに大きく躍進し、生徒の頑張り先生方の適切な指導によって近年まれにみる大躍進となった。

編集後記

創立九十周年記念プロジェクトが始まって、一年以上が経過した。何日、中津高校へ通つたらうか。

編集後記
創立九十周年記念プロジェクトが始まって、一年以上が経過した。何日、中津高校へ通つたらうか。

- ①河内淳次郎氏(一回生) N H K情報ネット
- ②亀井俊介氏(二回生) 「最近のテレビ報道」
- ③末松安晴氏(二回生) 「アメリカ文化をどう見るか」
- ④原部夫氏(二回生) 「変貌する地球観のなかで」
- ⑤原昭午氏(二回生) 東邦学園短期大学教授 「白山さま」とその周辺
- ⑥依田昌三氏(二回生) 大東証券株式会社
- ⑦平野和男氏(二回生) 大同生命相互保険会社社長
- ⑧山田彦嗣氏(二回生) 嶺南社常務取締役 「戦後民主主義」というカオス
- ⑨伊藤信雄氏(二回生) 東京新聞編集委員
- ⑩加藤俊平氏(四回生) 東京理科大学教授 「地球環境に生きるために」
- ⑪菅井直介氏(六回生) 東京大学医学部講師 「麻酔学の医療への貢献」
- ⑫後藤藤吉氏(四回生) チッソ社長
- ⑬水垣涉氏(四回生) 京都大学教授 「二つの学校——ヘライズムとヘレニズム——」
- ⑭秦惠美子氏(四回生) 中央大学講師 「福祉の心を求めて」
- ⑮成瀬聖慈氏(五回生) 愛知教育大学教授 「地球と人間」工学地震学からのアプローチ
- ⑯天野嘉之氏(五回生) 田中千香士の両氏に師事し、六一年にはN H K交響楽団に入団した。また、東京音楽大学の講師も務めている。
- ⑰森田基子氏(九回生) 中津川市新町生まれ、中津高校三十回卒業の同窓生である。五八年東京音楽大学ピアノ科を卒業。松本善三、

田中千香士の両氏に師事し、六一年にはN H K交響楽団に入団した。また、東京音楽大学の講師も務めている。

同窓生三氏が各賞を受賞

中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。

国公立大・私立大ともに大躍進

平成六年度の中津高校の大学進学状況は、例年にも増して好成績であった。国公立大学、私立大学ともに大きく躍進し、生徒の頑張り先生方の適切な指導によって近年まれにみる大躍進となった。

編集後記

創立九十周年記念プロジェクトが始まって、一年以上が経過した。何日、中津高校へ通つたらうか。

同窓生三氏が各賞を受賞

中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。

同窓生三氏が各賞を受賞
中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。

年度	国公立大	私立大	合計
5年度	45 (67)	292 (86)	337 (153)
6年度	62 (71)	272 (55)	334 (126)

い理系学部の人気が高く、女子では短大を避けて四年制への志望が多くなっている。

同窓生三氏が各賞を受賞

中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。

国公立大・私立大ともに大躍進

平成六年度の中津高校の大学進学状況は、例年にも増して好成績であった。国公立大学、私立大学ともに大きく躍進し、生徒の頑張り先生方の適切な指導によって近年まれにみる大躍進となった。

編集後記

創立九十周年記念プロジェクトが始まって、一年以上が経過した。何日、中津高校へ通つたらうか。

同窓生三氏が各賞を受賞

中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。

同窓生三氏が各賞を受賞
中津高校同窓生の末松安晴氏(二回生)と亀井俊介氏(二回生)と原部夫氏(二回生)が受賞された。